

首里城講座 平成 30 年度実施報告

安里成哉*1、仲宗根あい*1

1. はじめに

一般財団法人沖縄美ら島財団では、首里城に関する歴史・文化を普及啓発し、県民に関心を持っていただきながらその理解を深めることで、首里城公園の利用促進につなげることを目的に首里城講座を実施した。

平成 30 年度は4期回実施した。第1期では沖縄県立埋蔵文化財センターの協力を得て、首里城公園内における発掘調査の最新情報をテーマに実施した。第2期と第3期では、首里城公園で開催した企画展と連動したテーマに沿って実施し、展示資料に関する情報を深掘りして提供した。第4期は平成 31 年2月に供用開始した「御内原」地区をテーマに講座を実施した。

2. 平成 30 年度首里城講座 一覧

(1) 第1期「首里城発掘最新情報！」

① 第1回 開催日時：平成 30 年 6 月 22 日（金） 17：00～18:30
講 師：瀬戸 哲也（沖縄県立埋蔵文化財センター）
テ ー マ：「首里当蔵旧水路・首里城跡の発掘調査成果」
参加者数：37名

② 第2回 開催日時：平成 30 年 6 月 29 日（金） 17：00～18:30
講 師：新垣 力（沖縄県立埋蔵文化財センター）
テ ー マ：「首里城跡の発掘調査成果」
参加者数：30名

③ 第3回 開催日時：平成 30 年 7 月 6 日（金） 17：00～18:30
講 師：亀島 慎吾（沖縄県立埋蔵文化財センター）
テ ー マ：「首里高校内 中城御殿跡の発掘調査成果」
参加者数：42名

④ 第4回 開催日時：平成 30 年 7 月 13 日（金） 17：00～18:30
講 師：金城 貴子（沖縄県立埋蔵文化財センター）
テ ー マ：「発掘調査からみえる那覇市東村跡の様相」
参加者数：32名

(2) 第2期「企画展『美の動物園』を100倍楽しむ！」

① 第1回 開催日時：平成 30 年 8 月 3 日（金） 17：00～18:30
講 師：上江洲 安亨（総合研究センター 琉球文化財研究室 室長）
テ ー マ：「新発見!! 神猫図の秘密」

*1 一般財団法人沖縄美ら島財団 総合研究センター 琉球文化財研究室 琉球文化財研究室係 主事

参加者数：21名

- ② 第2回 開催日時：平成30年8月10日（金） 17:00～18:30

講師：仲嶺 絵里奈（写真史研究家）

テーマ：「美術史から読み解く動物文様」

参加者数：11名

- ③ 第3回 開催日時：平成30年8月17日（金） 17:00～18:30

講師：宮城 奈々（総合研究センター 琉球文化財研究室）

テーマ：「紅型で描かれた動物たち 清代絹織物の影響」

参加者数：18名

(3) 第3期「江戸に上った美少年と失われた楽器」

- ① 第1回 開催日時：平成30年11月23日（金） 17:00～18:30

講師：長嶺 亮子（沖縄県立芸術大学附属研究所 共同研究員）

テーマ：「御座楽楽器にまつわるエトセトラ」

参加者数：13名

- ② 第2回 開催日時：平成30年11月30日（金） 17:00～18:30

講師：上江洲 安亨（総合研究センター 琉球文化財研究室 室長）

テーマ：「京都六孫王神社に残る琉球人扁額と原本～ニセ正使とよばれた男の生涯～」

参加者数：21名

- ③ 第3回 開催日時：平成30年12月14日（金） 17:00～18:30

講師：輝 広志（首里城公園管理部 事業課 調査展示係）

テーマ：「琉球使節と楽童子」

参加者数：21名

(4) 第4期「甦った御内原～首里城の裏側～」

- ① 第1回 開催日時：平成31年2月8日（金） 17:00～18:30

講師：喜名 盛昭（中国民俗音楽研究家）

テーマ：「王朝時代の中国伝来音楽」

参加者数：34名

- ② 第2回 開催日時：平成31年2月15日（金） 17:00～18:30

講師：新里 涼子（株式会社 国建）

テーマ：「首里城の十嶽と祭祀～御内原を中心に～」

参加者数：54名

- ③ 第3回 開催日時：平成31年2月22日（金） 17:00～18:30

講師：仲原 伸子（沖縄国際大学非常勤講師・おもろ研究会会員）

テ ー マ : 「オモロにみる首里城ー巻五を中心にー」

参加者数 : 42 名

④ 第 4 回 開催日時 : 平成 31 年 3 月 1 日 (金) 17 : 00 ~ 18 : 30

講 師 : 新垣 力 (沖縄県立埋蔵文化財センター)

テ ー マ : 「発掘調査成果にみる首里城跡「御内原」の姿」

参加者数 : 33 名

3. 受講者の声

- ・ 出土したものを観光にどう役立てるのか。
- ・ 美ら島財団の収蔵庫を見学したいです (バックヤードツアー)。
- ・ 御座楽がアジア文化を感じるひとつの興味深いものだとわかった。
- ・ アジア旅行にでかけたくなった。
- ・ 江戸上り CD ソフトは販売しないのか。
- ・ 「楽童子の書」というカテゴリで、財団のほうで資料を集めてほしい。
- ・ 「御内原」をテーマとした同じ講座をもう一度やってほしい。
- ・ 「御嶽」の遺構は発掘調査で出てきたのか。

4. まとめ

首里城講座は平成 30 年度で 5 年目を迎えた。今年度は 4 期 14 回を開催し、計 409 名の参加者がみられた。各期の参加者目標達成率は、第 1 期 118%、第 2 期 42%、第 3 期 46%、第 4 期 136%である。

第 1 期は参加率が高く、県民の考古に対する関心の高さがうかがえるため引き続き情報発信を行っていく。

企画展のテーマに沿って行われた第 2 期、第 3 期の講座では、主に琉球王国時代の美術工芸品に関連する内容を扱った。展示品等を様々な視点から研究・考察し普及啓発することで、企画展観覧者の満足度を向上させる役割を果たした。今後も調査研究を進め、内容を充実化させることで県民の興味関心を誘発したい。

第 4 期は御内原地区の供用開始に合わせた事もあり反響がとて大きかった。喜名氏の講座では、実際に楽器の演奏を行い好評であった。新里氏と仲原氏のテーマは、今まであまり取り上げていない「祭祀・信仰」や「おもろ」から見た首里城ということもあり、質疑応答も活発になされた。

令和元年 10 月の火災を受け、首里城や収蔵品に多くの注目が集まっている。首里城の歴史・文化、美術工芸品等収蔵品に関する普及を行う首里城講座の役割は例年より大きくなっていく。講座を通して改めて普及啓発に努めていきたい。



講座の様子



講師を務める輝広志 (第 3 期第 3 回)